

■今月のポイント ~単収・食味UPを目指して~

- ① **水管理** : 冷害を回避するため、7月中旬から深水管理ができる準備をしましょう。
- ② **追肥** : 生育ステージと幼穂形成期の葉色を見極め、適期に適量を施用しましょう。
- ③ **病害対策** : 穂いもち予防剤は適期散布を実施しましょう。
- ④ **カメムシ対策** : 出穂10日~15日前(7月21日頃)までに草刈りを行いましょう。

展示圃の生育状況 6月25日調査 ()は平年値 茎数は1株当りの本数

| | 草丈 (cm) | 茎数 (本/株) | 葉数 (葉) | 葉数差 |
|-------|-------------|-------------|-----------|------|
| ひとめぼれ | 43.4 (39.1) | 34.7 (26.1) | 9.6 (9.2) | +0.4 |
| ヒメノモチ | 37.5 (40.5) | 27.6 (25.1) | 8.7 (8.9) | -0.2 |

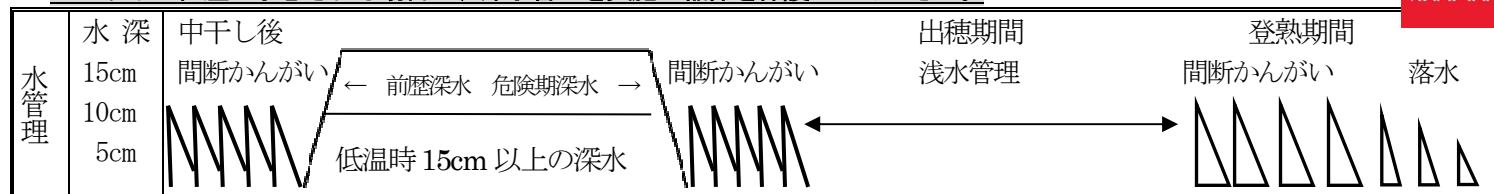
生育状況

6月25日現在、高温で推移したため、生育は平年より3日程度早く進んでいます。茎数は平年より多いため、積極的に中干しを行いましょう。
 また、高温により窒素を消耗し、葉色が褪めている圃場が散見されます。葉色を確認し無理のないように追肥を行いましょう。

*今年の梅雨入り 6/23 頃、平年の梅雨明け 7/28 頃です。(昨年梅雨入り 6/9、梅雨明け 7/22)

今後のスケジュール ポイント① : 冷害を回避するため、7月中旬から深水管理ができる準備をしましょう。

17℃以下の低温が予想される場合は、深水管理を実施し稲体を保護してください。



| 生育時期 | 幼穂形成期迄 | 幼穂形成期 | 減数分裂始期~減数分裂終期 | 出穂期 | 穂揃期 | 登熟期 |
|------|---------------------|--|--|--|---|--|
| 水管理 | 間断かんがいする。 | 4~6cmの水深とする。 幼穂の伸長に合わせて徐々に水深を深くする。 低温が予想される場合は10cm以上の深水にする。 | 気温17℃以下の低温が予想される場合は15cm以上の深水にする。 全く低温の心配がない場合は間断かんがいとする。 | 3~5cm程度の浅水管理とし、落水状態は避ける。 出穂開花期は、稲が大量の水を必要とするので受粉障害が発生しないように田面を露出しない | 気温が日中30℃以上(夜間が23℃以上)の高温時は、 ・夜間間断かんがい(夜:入水 朝:自然落水)により、乳白粒の発生を防止しましょう。 | 落水時期まで間断かんがいとする。(徐々に入水期間を短くし、田面が湿っている程度とする。) |
| 穂いもち | 圃場巡回 | 予防剤散布 | 圃場巡回(いもちが見られる場合は、直ちに茎葉散布) | | | |
| カメムシ | 畦畔等の草刈(出穂10~15日前まで) | | | 薬剤散布 穂揃1週間後 | | |

※穂揃期~登熟初期の高温は品質低下(乳白粒等の発生)の要因となるので、特に水管理には注意しましょう!

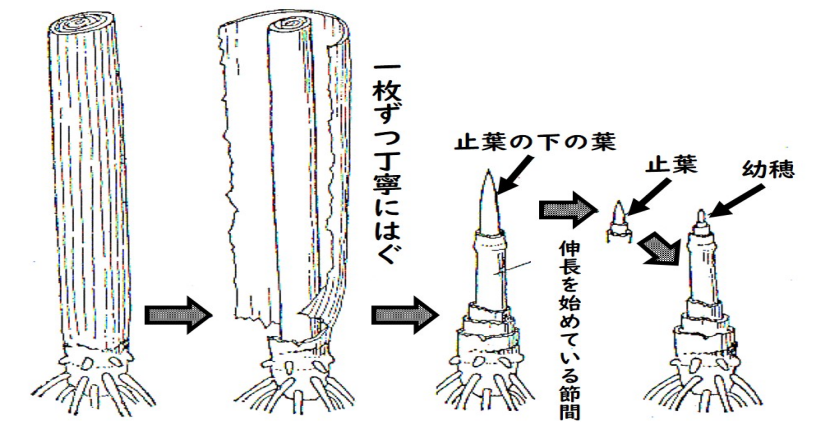
今後の生育予想(6月25日現在) 幼穂形成期・減数分裂期の確認をしながら管理にあたりましょう。

| 生育時期 | ひとめぼれ5/14以前 | ひとめぼれ5/15以降 | ヒメノモチ |
|-----------|-------------|-------------|--------|
| 幼穂形成期 | 7月7日頃 | 7月11日頃 | 7月7日頃 |
| 減数分裂期(始期) | 7月14日頃 | 7月18日頃 | 7月13日頃 |
| 出穂期 | 7月29日~8月1日頃 | 8月3日~6日頃 | 7月26日頃 |

生育の見分け方

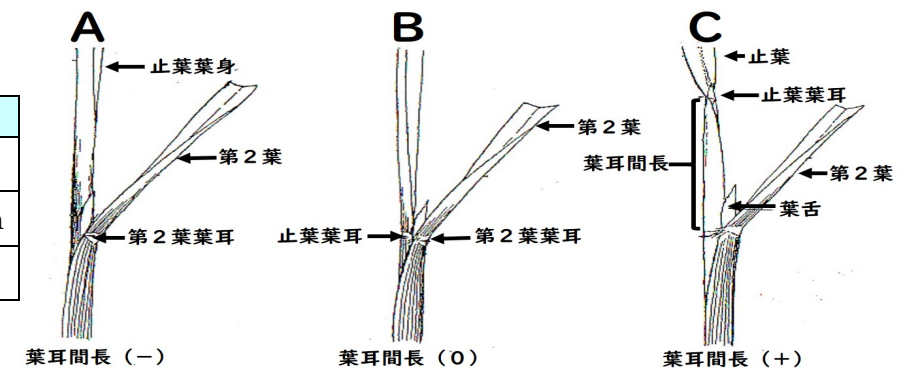
■幼穂による見分け方■

| 生育経過 | 出穂前日数 | 幼穂長 |
|--------|---------|------|
| えい花分化期 | 27~28日前 | 1mm |
| 幼穂形成期 | 23日前 | 2mm |
| 減数分裂期 | 16日前 | 50mm |



■葉耳間長による減数分裂期の見分け方■

| | 生育経過 | 出穂前日数 | 葉耳間長 |
|---|---------|-------|-------|
| A | 減数分裂始期 | 16日前 | -10cm |
| B | 減数分裂最盛期 | 11日前 | ±0cm |
| C | 減数分裂終期 | 7日前 | +10cm |



追肥 ポイント② : 幼穂形成期に葉色を確認し、適量を施用しましょう。

- ① 圃場の生育状況(葉色)・(幼穂長2mm~)を確認してから追肥(窒素成分で1~2kg/10a程度を上限)をしましょう。
- ② 減数分裂期でも葉色がさめない場合は追肥を行わないようにしましょう。
- ③ 楽々ライ夢くん20一発などの緩効性肥料(セラコート肥料)を使用した場合は、追肥は行わないようにしましょう。
- ④ 出穂期以降の追肥(8月に入ってから)は食味を低下させる原因となるので、絶対に行わないようにしましょう。
- ⑤ 追肥は乳白粒発生を抑える重要な管理方法となります。夏の暑さを乗り切るためにも、適正な施用を行いましょう。



1. 追肥の施用時期と施用量（成分量）の目安（ひとめぼれ） (10a 当り)

| カラスケール 基準値 | 幼穂形成期 (出穂 23 日前) | 減数分裂期 (出穂 16 日前) | 追肥の考え方 |
|----------------|------------------------|---------------------|--|
| 4.0 未満 | 窒素成分量 1. 0kg~2. 0kg | | 幼穂形成期 1. 0kg、減数分裂期に 1. 0kg と 2 回に分けて追肥を検討（窒素成分量 2. 0kg を上限）。 |
| 4.0~5.0 | 窒素成分量 1. 0kg~2. 0kg | - | 幼穂形成期を重点に追肥を実施する。 |
| 5.0 を超える 場合 | - | 窒素成分量 1. 0kg | ※葉色がさめるのを待ち、減数分裂期までに追肥を実施する。 |

※ 葉色だけで判断せず、草丈、茎数を加味して総合的に判断しましょう。判断が難しい場合はJAにご相談ください。



カラスケールを活用し、適正な追肥を行いましょう！資材センターで取り扱っています。

2. 追肥肥料現物量の目安 (10a 当り)

| 栽培 | 肥料名 | 窒素成分で | | |
|---------|--------------|-------------------|-----------|-----------|
| | | 1. 0kgの場合 | 1. 5kgの場合 | 2. 0kgの場合 |
| 特別栽培米 | ふるさと有機入り水稲追肥 | 10kg | 15kg | 20kg |
| | おてがるくん | 8kg以内（窒素成分 1kg相当） | | |
| ふるさと純情米 | 塩加磷安 284 号 | 8kg | 12kg | 16kg |
| | NKC 17 号 | 6kg | 9kg | 12kg |
| | おてがるくん | 8kg | 12kg | 16kg |

※特別栽培米「ふるさと有機入り水稲追肥」は現物で上限が 20kg/10a 「おてがるくん」は現物で上限が 8kg/10a となります。春肥料施肥設計指導会資料を参考に、窒素成分を超えないようにご注意ください。

例) すでに現物で 10kg/10a 追肥した場合は、今回は残り 10kg/10a の範囲での追肥になります。肥料の間違えや使用量を超えると特別栽培米から外れますので、ご注意ください。

病害対策 ポイント③: 穂いもち予防剤は、適期散布を実施しましょう。



1. 穂いもち予防剤

| 区分 | 薬剤名 | 防除時期 | 散布量/10a | 注意点 |
|---------|-----------|-------------|---------------------------|--|
| 特別栽培米 | ゴウケツ 1*粒剤 | 出穂 25~15 日前 | 水面施用 1kg | 【ゴウケツ・フジワン共通】 ・1*粒剤及び粒剤は 3cm 程度の湛水状態で散布。 ・パックは 10cm 程度の湛水状態で投げ入れる。 ・散布後 7 日間は止水とする。 |
| | ゴウケツ 粒剤 | | 水面施用 3~4kg | |
| | ゴウケツ パック | | 水面施用 45g ×小包装 10パック | |
| ふるさと純情米 | フジワン 1*粒剤 | 出穂 20~10 日前 | 水面施用 1~1.5kg | |
| | フジワン 粒剤 | | 水面施用 3~5kg | |
| | フジワン パック | | 水面施用 75g ×小包装 10~15パック | |

※特別栽培米は「ゴウケツ」のみ使用可能となります。また、ふるさと純情米については、上記薬剤以外の使用も可能ですが、春肥料施肥設計指導会資料の「令和 6 年用 JA 岩手ふるさと農業指定品目一覧」をご確認の上、使用願います。※無人ヘリ防除は「ゴウケツ」の散布となります。

2. 葉いもち茎葉散布（治療剤）

※葉色の濃い部分、例年発生する水田、転作から復元した水田は特に注意して観察してください。

なお、**いもち病の発生を確認した場合は、直ちに治療剤を茎葉散布しましょう。**

※特別栽培米で、いもち病の茎葉散布剤を使用した場合、**ふるさと純情米になります**が防除を最優先にしましょう。※農薬ラベルを確認し（使用時期・使用回数）、同一成分を含む薬剤の連用はしないようにしましょう。

| 薬剤名 | 防除のタイミング | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 散布量/10a |
|--------------|--------------------------------------|------------|---------|---|
| ダブルカット粉剤 3DL | 発生を確認したら散布。状況に応じて 2 回目は 7 日~10 日後に散布 | 穂揃い期まで | 2 回以内 | *粉剤 3~4kg *フロアブル 1,000 倍液 60~1500 |
| ダブルカットフロアブル | | 収穫 14 日前まで | 2 回以内 | |
| トライフロアブル | ※但し、同じ薬剤の連用は避ける | 収穫 7 日前まで | 2 回以内 | |

3. 紋枯れ病対策

| 薬剤名 | 防除のタイミング | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 散布量/10a |
|------------|----------|------------|---------|------------------|
| バリダシン粉剤 DL | 出穂直前~出穂期 | 収穫 14 日前まで | 5 回以内 | 3~4kg 散布 |
| バリダシン液剤 | 出穂直前~出穂期 | 収穫 14 日前まで | 5 回以内 | 1000 倍液を 60~1500 |

※特別栽培米でも使用可能です。

※水口側、水尻側で 25 株ずつ計 50 株観察し、発病株数 10 株以上あれば防除を行いましょう。

カメムシ対策 ポイント④: 出穂 10 日~15 日前（7 月 21 日頃）までに草刈りを行いましょう。



耕種的防除

※畦畔の草刈りが基本です。水田にカメムシが寄りにくい環境作りが大切です！！

※カメムシは**イタリアンライグラス、ノビエ、シズイ・ホタルイ**等イネ科植物を好み穂に産卵します。

特に出穂 10 日~15 日前（7 月 21 日頃）までに、カメムシの発生源となるイネ科植物を中心とした雑草等（畦畔・農道含）を、地域一斉に刈り取ることが効果的です。

※ 出穂してからの草刈りは、カメムシを水田内に追い込むことになるので避けましょう。

稲ひとつでも顔を出したら、その茎を「出穂した」と判断します。



~令和 6 年産 GAP チェックシートの取り組み（7 月編）~

令和 5 年産の GAP チェックシート集計結果からチェック率の低い項目を毎月紹介していきます。

令和 6 年産ではチェック欄に○がつくよう取り組んでいきましょう！

「(推奨項目) 作業中に行ける場所にトイレがある」(65.6%)

「(必須項目) 包装用の資材は、汚染や異物混入を防げる状態で保管されている」(68.5%)

■水稲の栽培、農業使用等に関するお問い合わせは...

「胆沢地域センター-営農経済課」 47-0031

「営農アドバイザー-携帯電話」

090-4478-9947 090-4478-9948 090-4478-9949 090-4478-9951

■生産資材・生活資材のご注文・配達...

「拠点配送センター」 0120-516-911 (フリーダイヤル)

■生産資材等の直取り・窓口供給は...

「胆沢資材センター」 47-1612

平日営業時間: 午前 8:30~午後 5:00

休日営業時間: 6 月~10 月 毎週土曜日 午前 8:30~正午

※期間を通し祝祭日は休業です。

■奥州エフエム(77.8MHz)では毎週月曜から金曜日朝 7:52 から夕方 17:42 から営農情報や緊急情報を放送しています。是非、ご視聴よろしく願います。

LINE 公式アカウント

友だち募集中

@703kysml
うれしい情報をLINEでお届け